



フレッシュに、おいしさと楽しさを追求します

第48期

年次報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで



～おいしさと楽しさ～

シブフーズ株式会社

証券コード 2903

当社グループがめざす姿

『おいしさと楽しさ』をモットーに、消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざしてまいります。

社会の活力を支える企業として

私たちシノブフーズは、お客様の視点に立った「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR（企業の社会的責任・社会からの信頼）にもとづいた企業活動を実践し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

中期経営計画における

当社グループでは経営理念を実現するために収益基盤の強化を図ることが重要と捉え、4つの基本戦略をもとに取り組みでまいります。



1

販売戦略

継続的な売上成長

健康志向など消費者ニーズに応え、取引先の業績に貢献できる商品を提供するための「商品開発力」を高めるとともに、安全・安心な商品を提供する体制を強化し、継続的な売上成長に取り組みでまいります。

2

コスト戦略

コスト競争力の強化

収益力を強化するため、購買部を軸に全社横串でのコスト削減に取り組む「購買力強化」や生産効率の高い生産機器の導入など「生産性改善に向けた設備投資」を行うとともに、管理面において早期経営情報の把握や製造管理の精度向上をめざした「統合データベースの構築」に取り組む、コスト競争力の強化に挑んでまいります。

3

人財戦略

人材の育成

生産現場を支えるパートタイム・アルバイト従業員や会社運営を担う社員を人財として捉え、モチベーションの向上や働きやすい職場づくりのための労働環境の整備や風土づくりを礎に、「現場力強化」に取り組むとともに、将来にわたり企業として継続していくため、計画的なローテーションの実施や評価基準を明確にし「次世代の人材育成」を行ってまいります。

4

環境戦略

環境への取り組み

企業としての社会的責任を果たすためにも、「法的基準の遵守・管理」を継続していくことはもちろん、太陽光パネルの設置や省エネ効果の高い生産機器の導入による電気使用量の削減、食品残渣の削減やリサイクルの推進により、「事業活動を通じた環境負荷への軽減」を図ってまいります。

基本戦略



中期経営計画における数値目標

中期経営計画の数値目標として、創業50年を迎える第50期において売上高550億円、経常利益率3.0%をめざしてまいります。

数値目標
(2020年3月期)

売上高

550 億円

経常利益率

3.0 %

さらなる成長に向けて変化への挑戦



代表取締役社長
松本崇志

シノブフーズは、『おいしさと楽しさ』をモットーに、設立以来40年以上、「食」にかかわる企業の使命として、お客様のニーズや社会のスタイルに合わせた商品を提供してまいりました。

近年、お客様の本物志向、健康志向、さらには環境対応など、商品に求められる価値は、益々多様化しております。

私たちシノブフーズは、お客様の視点に立った「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR（企業の社会的責任、社会からの信頼）にもとづいた企業活動を実践し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

● 営業の概況

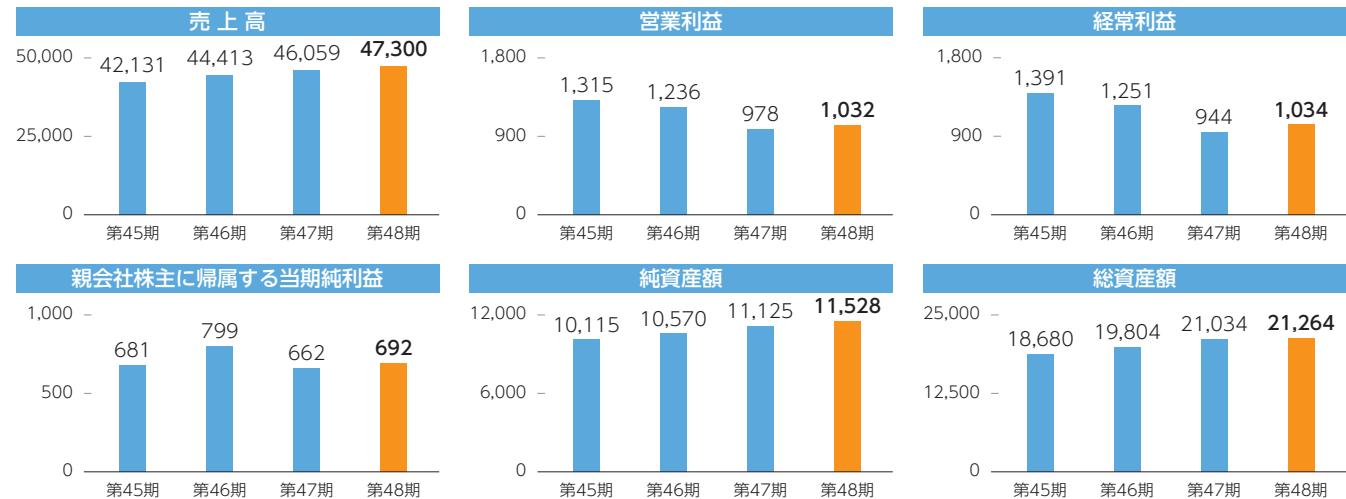
当社グループは中期経営計画における4つの基本戦略、「継続的な売上成長」、「コスト競争力の強化」、「人材の育成」、「環境への取り組み」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、弁当の「真菜ごころ」ブランドへの集約により販売を拡大するとともに、新規取引先の開拓や工場増築による生産能力の拡大が寄与し、コンビニエンスストアやスーパーマーケットを中心に、売上高は堅調に推移いたしました。商品開発においては、料理の専門家を招いた勉強会の開催や全製品アイテムのブラッシュアップに取り組むなど、一品一品をより美味しくするための取り組みを行いました。

生産面では、炊飯設備の入替や野菜洗浄ラインの稼働による品質向上に加え、生産管理部門による工場点検の強化や従業員への教育など安全・安心な商品の提供に取り組ましました。

コスト面では、精米や鶏肉、海苔等の原材料価格の値上がり等がありましたが、原材料の調達方法の見直し、製品アイテムの集約や類似食材の統合、生産工程の見直しや機械設備による省人化を進め、材料ロスの削減や生産効率の向上などコストの増加を抑える取り組みを積極的に行いました。

● 連結経営数値 (単位: 百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	前期 (平成29年3月31日現在)	当期 (平成30年3月31日現在)
■ 資産の部		
流動資産	7,477	6,849
固定資産	13,556	14,414
有形固定資産	12,955	13,802
無形固定資産	102	96
投資その他の資産	498	515
資産合計	21,034	21,264
■ 負債の部		
流動負債	7,577	7,146
固定負債	2,331	2,589
負債合計	9,909	9,736
■ 純資産の部		
株主資本	10,964	11,393
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	3,247	3,253
利益剰余金	3,637	4,140
自己株式	△613	△694
その他の包括利益累計額	18	49
その他有価証券評価差額金	35	48
退職給付に係る調整累計額	△16	1
新株予約権	112	55
非支配株主持分	30	29
純資産合計	11,125	11,528
負債・純資産合計	21,034	21,264

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	当期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
売上高	46,059	47,300
売上原価	36,869	37,722
売上総利益	9,190	9,578
販売費及び一般管理費	8,211	8,545
営業利益	978	1,032
営業外収益	53	27
営業外費用	87	25
経常利益	944	1,034
特別利益	10	4
特別損失	28	22
税金等調整前当期純利益	926	1,016
法人税、住民税及び事業税	273	307
法人税等調整額	△14	12
当期純利益	666	696
非支配株主に帰属する当期純利益	4	3
親会社株主に帰属する当期純利益	662	692

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	当期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,581	1,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,297	△1,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	478	△623
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△237	△822
現金及び現金同等物の期首残高	2,452	2,215
現金及び現金同等物の期末残高	2,215	1,392

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

野菜洗浄システムを京滋工場に導入

従来の野菜洗浄は、安全性の確保のため、次亜塩素酸ナトリウムで長時間殺菌していましたが、野菜のダメージを軽減し、おいしさと鮮度をより長持ちさせるため洗浄剤をメーカーと共同開発し、高効率の洗浄殺菌工程を確立しました。塩素臭のほとんどしない安全なおいしい野菜を提供するとともに、機械化による生産性の改善にも貢献しております。



三重県員弁郡の当社指定農場で田植え

2018年春には、新入社員を含め10名の社員が当社指定農場にお邪魔し、生産者の方々と一緒に田植えを行いました。普段何気なく食べているコメがどれほどの苦労や手間暇をかけて作られているのかを実感し、食物の大切さを再認識できる貴重な経験となりました。より生産者に近く、安全・安心な原材料を確保するため、コメをはじめとした農産物を生産者から直接購入する取り組みを進めています。



》》 会社の概要（平成30年3月31日現在）

社名	シノブフーズ株式会社 SHINOBU FOODS PRODUCTS CO.,LTD.
設立	昭和46年5月1日
資本金	4,693,422,000円
従業員数	495人
事業内容	米飯加工食品（弁当、おにぎり、寿司等）・調理パン（サンドイッチ等）・惣菜等の製造販売

》》 役員（平成30年6月28日現在）

代表取締役社長	松本崇志
代表取締役	西村寿清
取締役	隅田真年
取締役	清水秀輝
取締役	長尾正史
取締役（社外）	加藤道彦
取締役（社外）	中野由里
常勤監査役	川口博司
監査役（社外）	橋爪健治
監査役（社外）	佐賀千恵美
執行役員	岡田孝司
執行役員	構祐二
執行役員	徳重貞幸
執行役員	田中謙治
執行役員	東伸一郎
執行役員	花谷由紀
執行役員	杉山直博

》》 株式の状況（平成30年3月31日現在）

発行可能株式総数	45,656,000株
発行済株式総数	13,900,000株
単元株式数	100株
株主数	9,953名

》》 ネットワーク（平成30年3月31日現在）

本社	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号 TEL (06) 6477-0113 (代表)
工場	千葉 千葉県八千代市上高野1734番1 TEL (047) 484-7676 (代表)
名古屋	愛知県弥富市四郎兵衛1丁目128番地 TEL (0567) 52-1444 (代表)
大阪	大阪市西淀川区福町1丁目9番16号 TEL (06) 6471-5331 (代表)
関西	大阪市西淀川区御幣島2丁目11番30号 TEL (06) 6475-5095 (代表)
京滋	滋賀県栗東市六地藏1163 TEL (077) 551-5790 (代表)
岡山	岡山県総社市中原字巽原88番の2 TEL (0866) 95-2323 (代表)
広島	広島県尾道市美ノ郷町本郷1番地65 TEL (0848) 40-0288 (代表)
四国	香川県観音寺市柞田町字干拓丁93番7号 TEL (0875) 57-6677 (代表)
物流センター	大阪市西淀川区福町1丁目9番17号 TEL (06) 6475-1078 (代表)
子会社	〇株式会社 〇株式会社 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号 TEL (06) 6474-1116 (代表)
〇株式会社	〇株式会社 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号 TEL (06) 6477-0303 (代表)

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.shinobufoods.co.jp/>) に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により、電子公告にすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部

特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



Shinobu

シノブフーズ株式会社

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

TEL (06) 6477-0113 (代表)

<http://www.shinobufoods.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、植物油インクを使用しています。